

# あのとときの常呂・写真館

VOL 43

(1967年)

## 昭和42年7月20日 戦没者慰霊祭

▶ごく最近まで、戦没者慰霊祭は中央児童公園にある忠魂碑を前に、毎年7月20日に行われていました。この戦没者慰霊祭は、戦死した153柱の霊を慰め平和への誓いを立てることとともに、地域の人たちにとって演芸や武道を楽しむ機会でもありました。



昭和42年8月号の「広報ところ」は、「…本祭が行われている間、小中学生による音楽パレードが街を行進し、会場ではエレキバンドやブラスバンドの演奏、日本舞踊、バレエ、民謡などが次々に披露されました。また、小中学生や青年による相撲、剣道も行われ、遺族や一般参加者の目を楽しませていました」と紹介しています。



翌43年の広報は、マジシャンズクラブによる奇術や日吉鈴らん会の舞踊、また、昭和39年の広報は、自衛隊音楽隊の演奏、女流浪曲／富士月の栄の演芸会を伝えています。

ちなみに、この公園には今はない小高神社や土俵、野外ステージがあり、こうした地域の行事や娯楽を楽しむ貴重な場所となっていました。※野外ステージ(野外演芸劇場)は、昭和34年8月に、常呂町遺族顕彰後援会の積立金と篤志寄付によって

建設されてました。 ※小高神社(相馬妙見小高神社)は、大正12年8月に拝殿を建立、平成5年に御神体を小高神社に返還しました。 ※土俵では、招魂祭(戦没者慰霊祭)の青年団対抗相撲大会や学童相撲大会、全道青年相撲大会北見予選(昭和24年)、東京大相撲：鏡里：大内山一行の興業(昭和30年)なども行われました。



\*昭和42年の写真  
左上：エレキバンド  
（「ザ・ヤング・フェローズ」という  
バンド名があります）

上：舞踊  
左：山内バレエ教室  
左下：学童相撲大会  
下：学童剣道大会

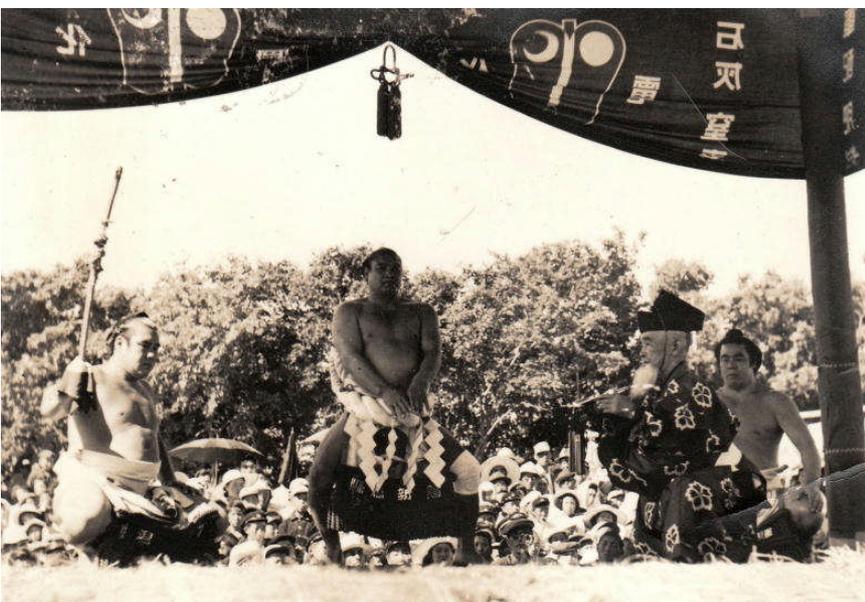


※昭和41年の戦没者慰霊祭の写真



\*素人のど自慢大会の看板と大勢の観客が見えます

\*奥に小高神社の本殿が見えます



\*上6枚は、剣道・相撲大会や大勢の見物客、パレード。

\*左は、この土俵で行われた「東京大相撲：鏡里・大内山一行の相撲興行」（昭和30年7月7日）の写真です。